



夢追人VI

かとう学園 宗像市立河東中学校
学校通信第6号(R4. 5. 9)

体育祭ブロック長のメッセージ

今回から3回に分けてブロック長のメッセージを掲載します。ブロック長の意気込みと決意をしっかりと受け止めてください。

【 赤ブロック長 島田 友喜 さん 】

赤ブロック長になりました島田友喜です。今年の体育祭は、7年生から9年生まで全力・協力・笑顔あふれる楽しい体育祭にしたいと思います。この目標を成功させるためには、一人一人が全力で仲間と協力して笑顔で楽しむことが必要です。練習の時から仲間と協力して笑顔で頑張りましょう。今回の赤ブロックは、どのブロックより声を出して盛り上げてダンスも可愛く楽しく踊って、赤ブロック一丸となって優勝を勝ち取りたいと思います。全ブロック頑張って楽しい体育祭をつくりあげましょう。

【 赤ブロック長 戸田 結月 さん 】

赤ブロック長になりました戸田結月です。私は、今年の体育祭を全力を出して楽しめるものにしたいと思っています。そのために、自分から声を出して盛り上げたり、メリハリをつけたりして頑張りたいです。7年生にとっては最初の体育祭、8年生にとっては2回目の体育祭、9年生にとっては最後の体育祭になります。ブロックリーダーと協力しながら、みなさんにとって最高の体育祭になるよう全力を出したいと思うのでよろしくお願いします。全力で協力して盛り上げていきましょう！

【 緑ブロック長 綿島 司 さん 】

この度、緑ブロック長に任命されました綿島司です。まず、コロナ禍での体育祭が開催されることに感謝の気持ちを持ち、メリハリをつけ盛り上げていきましょう。さて、8・9年生は、常に「考動」をしてください。「考動」とは、「考えながら動く」ということです。この「考動」を頑張ることによって必然的に優勝できると思います。そして、7年生は初めての体育祭で不安な気持ちが大きいと思います。しかし、緑ブロックには頼れる先輩がたくさんいます。だから、安心して僕たちについてきてください。皆で最高の体育祭にしましょう。

【 緑ブロック長 吉村 幸音 さん 】

こんにちは。今回、緑ブロック長になりました吉村幸音です。私は今回の体育祭で集団では一体感が出るようにし、その中で一人一人が楽しめる体育祭にします！！そして、ブロックリーダーが盛り上げるのはあたりまえですが、全員で全力、全身で最高に楽しめる体育祭を創っていきましょう！！ブロック長になったからには、責任感を持ってみなさんに的確な指示を出し、元気に楽しく全身全霊で引っ張っていくので、全力でついてきてください！！絶対に優勝しましょう！！

修学旅行で見た9年生のすばらしさ



4月27日～28日にかけて、9年生は熊本と長崎での修学旅行を行いました。その前後は大雨だったので、天気にも恵まれた2日間でした。

出発式で実行委員長の松尾君が話していたように、最高に思い出に残る修学旅行になったと思います。この2日間、いつもどこでも楽しそうに喜びにあふれた9年生の姿が見られました。また、会う人すべてに気持ちよくあいさつし、時間を常に守り、規律もしっかりした団体旅行でした。旅行業者の方やカメラマンさん、ホテルマネージャーさんなどからたくさんお褒めの言葉を頂きました。印象的だったのは、最後の活動でのパーロン体験の親方？の言葉です。「素直な生徒さんですね」—今の9年生を象徴するものでした。

解散式での実行委員長の和多さんの言葉には、引率した教員の胸を打つものがありました。「先生たちや旅行者の方、カメラマンさんたちなどこの旅行を企画し準備してくれた大人たちに全員でお礼を言いましょ」最後は感謝の言葉で締めくくられました。もともと2月に予定しコロナで中止になった修学旅行。日程も1日縮小され関西から九州へと旅程も変更。不平不満があって当然なのにもかかわらず、生徒代表から出た感謝の言葉。まさしく9年生はもう大人だと感じた瞬間でした。

和多さんが言っていたように、これから9年生は体育祭へと気持ちを切り替えて全校生徒をリードしてくれるでしょう。素直で、頼もしく、行事ごとに成長していく9年生。これからも楽しみです。

10年後、ツツジが咲くころに、あの楽しかった2日間を思い出してほしい。

河東中学校、本年度の学校教育の重点

- ① 非認知能力の育成を基盤とした認知能力の向上
- ② 対話力の育成（交流活動のある授業、タブレットの有効活用等）

学校だより第2号では、本年度の本校の学校教育目標をお伝えしました。

『自立・協働・創造～目標をもち、真・善・美を尊び追求して生きる生徒の育成』という目標で日々の教育活動を行っています。第2号でお知らせしました通り、この目標は、3ヶ年かけての達成を目指すものです。今回、さらにお伝えするのは、本年度の重点として掲げているものです。3ヶ年の道筋の中で、特に今年一年教職員一同力を入れていくのが、上に掲げた2点です。

①にあげているように、いわゆる「学力の向上」が本年度の重点の一つです。認知能力とも言います。これは、テストなどで測れる知的能力、数値で示すことができる能力をさします。しかし、河東中学校では認知能力を上げるために、「非認知能力」をこの一年間かけて高めていきます。「非認知能力」とは、数値化して測ることができない能力です。例えば、目標設定能力や積極性、コミュニケーション能力、リーダー性などをさします。また、物事をやり抜く力や粘り強さ、人と力を合わせる協調性やクリエイティブな力なども含まれます。つまり、学校教育目標で掲げている力そのものと言えるでしょう。この力をつけることで、結果的に学力や認知能力を高めることにつながっていきます。

さらに、②で示すようにこれからの時代の学力の向上のカギになるのは、「対話力」です。その中で、最重要視しているのは、周りの人とコミュニケーションをとって問題解決や新しいものを生み出していく力です。「三人寄れば文殊の知恵」というように、一人では解決できないことをチームで解決していく力は、これからの時代ますます必要となります。また、自分と対話する能力や、本や教科書・コンピュータと対話する力の向上も考えています。それらの力を高める有力な手段として、この一年、交流活動のある授業やタブレットの活用を積極的に進めていきます。

今の子どもたちが大人になってそれぞれの仕事に就いたとき、河東中で培った非認知能力が各分野で花開き活躍していくことを願ってやみません。